

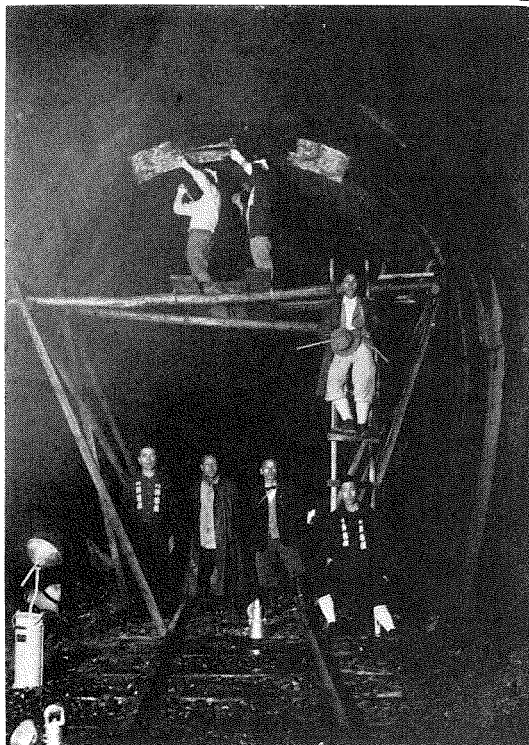
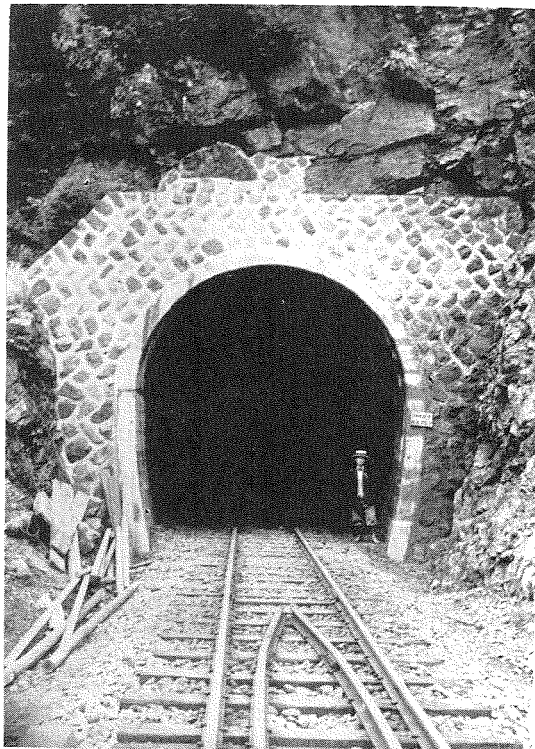
## 小海南線切組隧道 漏水止め工事概況

信越線小諸と中央線小淵澤とを繋ぐ鐵道線路を小海線と云ふ、而して線中央の小海より以南を小海南線と稱し吾國第一の高原鐵道としてハイキングで有名である。

八ヶ嶽の最高峰赤嶽より東方15,000米の地點に切組隧道がある、切組隧道に引續いて廣瀬、海ノ口隧道の第一第二が夫々連らなつて居る。

參謀本部の圖面で見ると1,200米のコントロールラインに沿ふて配置されて居る是等の隧道は、高原地帯にある丈けに寒さは仲々厳しく冬季は攝氏零度以下30度に降る事も珍らしくない。夫れ故に隧道に漏水があると忽ち氷結する事となる。

土人の人の話を聞くと或る隧道では内部に孟宗竹の筍大のツラ、(氷柱)がぶら下り、



これに汽關車がぶつつかつてツラ、を打ち破き、そのため破片が飛散して乗り合せた乗客に傷を負はせたと云ふことである。眞にありそうな話である。實際實地に就て是れを見ると隧道を捲き立てたコンクリートから漏水があるため、コンクリートをシミ割つて居る箇所も見受けられる程で、漏水がレールの上に落ちては氷結するため軌條の上に氷の山が盛り上げられる様な事は想像するに難くはない。此處に掲ぐる寫眞は以上の様な環境に置かれた切組隧道の漏水止め工事の作業の實況である。

防水劑はアクアシット加工法によつたもので合資會社丸内工業所が施工の任に當り營業列車の運轉を中止する事なく、主として夜間其の作業を進行して居る。

此の工事は目下作業中であるが尙此後も相當續行さるゝ事になつて居る。